

「あはは学校」～素直に育つ栄中～
あいさつ・返事・履物揃え(躰の3原則)

令和 4 年度 三郷市立栄中学校スクールプラン

相互信頼に基づく学校づくり

- 共感的人間関係の育成（全教育活動で）
- 小学校との連携（相互参観と交流活動）
- 教育活動の公開（いつでも公開できる学校）
- 学校応援団との連携（地域人材の活用）
- 地域との交流（ボランティアで輝く生徒）
- 地域行事へ参加（地域の一員としての自覚）



学校教育目標

「**澁刺颯爽**」

～**熱意・誠意・鍛錬**～

めざす学校像 **心身ともに健康で、社会に有為な人間の育成**
（学力・体力を伸ばす学校 美しい学校 夢への第一歩を踏み出せる学校）

めざす教師像 **相互信頼に基づき、生徒の意欲を引き出す教師**

めざす生徒像

「**礼儀正しく、本気でやり遂げる生徒**」
できるまでやり遂げる生徒（粘り強く継続する）
礼儀正しい生徒（相手の目を見て爽やかな挨拶をする）
自信と誇りを持つ生徒（考え、質の高い活動を目指す）

実現のための3つの大切

生徒指導の機能を生かす3つの留意点（自己存在感を持たせ、共感的人間関係を育成し、自己決定の場を与える）を常に意識した相互信頼に基づく教育活動の展開

教師は

授業を大切にする（意欲を引き出し、向上を実感させる）

- 授業規律の徹底（三郷の「授業の心得」の徹底）→教員・来校者評価；**全項目 95%以上**
- 「埼玉県学力・学習状況調査」・「全国学力・学習状況調査」の検証結果による授業改善→**実施教科担当教員全員**
- 1 単位時間 50 分を大切に「主体的・対話的で深い学び」を進めるための**方策を明確にし、日々の授業で実践**←T4、ジグソー法、パーテーションを活用した PREPS 法等
- 家庭と連携し、家庭学習の習慣化→**生徒・保護者評価；90%以上**
- 地域人材の協力を得て、体験学習や問題解決学習の充実→**各学年とも年 2 回以上**
- 新聞活用を推進し、読解力、表現力、思考力の向上→**次年度の県学・全学における前年度からの向上**
- 考え・議論する道徳の充実→**全教諭が年 1 回以上の公開授業実施**

教師は

心身を大切にする（安全な行動と安心して活動できる信頼感）

- 安心・安全をベースとした教育活動の実践→**毎日、具体的事例で指導**
- 読書活動を通しての感動体験→「夢への挑戦」の取組状況の向上、「Let's Read40」の推奨及び年間平均一人 22 冊以上、図書館司書によるレファレンス 17%増
- 家庭読書の推進による、親子の交流を深化→**家読郵便コンクールへの出品 59 点以上**
- 読書活動・道徳教育・人権教育・福祉教育を中心として、情操を豊かにするとともに、生命や人権を尊重する精神の醸成→**生徒事故 0**
- よい行いを積極的に賞賛→**地域からの朗報 9 件以上**
- 「ダメなものはダメ！」という毅然とした指導と粘り強い指導の実践(活動を通して、責任を持たせる・鍛える)
- ボランティア体験・職場体験・交流体験を通して、あいさつ等社会のルールを実践的に身に付ける指導→**生徒によるボランティア活動を軌道に**
- 保護者や地域の方々との接遇の機会において、教職員集団がよき手本に
- 体育授業および部活動を中心に運動の楽しさを充分に味わわせ、運動の生活化→**新体力テストの向上項目 70%以上**
- 質の高い練習で、生徒の活躍につながる指導→**県大会出場等 4 部活以上**
- 家庭と連携を図りながら保健指導を充実
- 生徒相互のコミュニケーションの機会を意図的・計画的な設定と支援→**生徒間トラブル 50%減**

教師は

環境を大切にする（教師と生徒が一緒につくる人的・物的環境）

- ◆**高い指導力と人間性豊かな教職員**→**全教職員にとって安心な職員室に**
- 人事評価制度を活用し、教職員一人一人のよさを伸長・反映（管理職）
- 職員の持ち味やライフステージに応じた積極的な研修
- 学校課題研修に積極的に取り組み「生徒の姿で評価する」教員の育成
- 生徒や教育に関する前向きな話題が飛び交う職員室の雰囲気醸成
- 倫理確立委員会の充実、信頼される教職員を育成→**教職員事故 0、苦情 0**
- 学校経営の基盤である学年・学級経営力の向上
- 学年主任のリーダーシップのもと、前向きな学年集団づくり
- 学校応援団等地域の人材を積極的に導入→**各学年 2 回以上**
- ◆**美しく安全な学習環境の整備**→**机・いすのラベルが美しいままの学級**
- 定期・臨時の安全点検（触診）と見届けを徹底し、危機管理意識を向上
- 日常の清掃活動を重視し、生徒と協働し、見届けを行い環境美化を徹底
- より実践的、現実的な避難訓練や防犯教室、自転車交通安全教室の実施
- 学校予算を有効活用し備品購入や緑化等を含めた環境整備の計画的な推進
- 学習センター機能を中心とした学校図書館の活用と図書館司書によるレファレンス数の増加→**昨年度比 17%以上の増加**
- ◆**適切な言葉遣いと豊かな表現力**
- 読書活動を通して豊かな表現力と語彙力を育成
- 言葉に敏感な意識を持ち、自ら率先して適切な言葉遣いの徹底
- 詩や作文などの参考作品を多く掲示し、豊かな表現力を育成
- 「夢への挑戦」を通して生徒の表現力を向上→**全生徒がいずれかに挑戦**

生徒は

- 教室環境を自分たちで整え、心を込めたあいさつで始める。
- 授業規律をしっかり守る。
- 授業に集中する。（話をしっかり聴く）
- 自分の考えをわかりやすく表現する。（学習のよりどころとなるノート、発表の仕方）
- わからないことをそのままにしないで質問する。
- 予習・復習を確実に行ってから授業に臨む。
- 1 分前着席による予習・復習の習慣化を図る。（心と頭の準備）



生徒は

- いつでも、どこでも、誰にでも、場に応じた挨拶をする。
達成目標＜相手の目を見て爽やかなあいさつの習慣化＞
- 名前を呼ばれたら気持ちのよい返事をする。
- 前向きな態度で何事にも粘り強く挑戦する。（計画、継続、集中、強い意志）
- 学校や社会のきまりを守る。（公德心の育成）
- 自分も他人も大切にすることができる。（自尊感情と思いやり）
- 自分がしたことは誠実に自分で責任をとる。
- 積極的に人と関わり、よりよい人間関係をつくる。
- 自分の命は自分で守る。（危険予知・回避能力）
- 健康に関心を持ち、進んで運動する。

生徒は

- 学校の施設・設備を大切にする。
- 積極的に清掃活動等に取り組み、きれいな学校にしようとする。
- 常に気持ちのよい教室（整った机とロッカー、美しい床と黒板）を保つ。
- 限りある資源を大切に使うことができる。
- 場に応じた適切な言葉遣いができる。
- 相手の目を見て明るいあいさつ、気持ちのよい返事ができる。

数値目標

- ・東部地区学校(3 年)→5 科 SS52 以上、10・9 段階 18%以上、
- ・次年度の県学テ→2・3 学年県平均以上（国・数・英）
- ・次年度の全学テ→国語、数学、理科 全国平均以上
- ・実力テスト →1 年；県平均以上、10・9 段階 15%以上
2 年；SS53 以上、10 段階 8 人以上、9 段階 18 人以上
- ・伝統の継承→感動的な卒業式、マナーのよい修学旅行、統計グラフコンクール県上位・科学の甲子園 Jr. 県ベスト 10、NIE 教育
- ・新たな挑戦→少年の主張県大会、図書館を使った調べる学習コンクール全国へ

今年度の重点

学力向上 3 つの力

学力向上の基盤として

- 計画する力
- 継続する力
- 集中する力

★生徒が自分の成長を実感できる授業の推進

- 栄中の生徒指導を推進し、学習環境を整える。
- 組織的活動により学年・学級経営を充実させ、活動の質を高める。
- 1 単位時間の充実のための研修を深める。

強い意志